

平成29年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

下永谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

【下永谷地区】

- ・ 高齢の親と精神疾患の子など重複したケースについて、地域住民や他職種と地域で支えていくことを議題として、地域ケア会議や連絡会を開催しました。
- ・ 認知症や生活支援を必要とする高齢者を中心に、若年性認知症、40～50歳代のガン末期、進行性難病、精神疾患に関する相談について、時には地域住民の協力のもと対応しました。
- ・ 小中学校に向けて認知症サポーター養成講座の企画を引き続き提案しました。

【永野地区の一部・上永谷4～6丁目】

- ・ 町会単位で介護予防講座などを開催し、引き続き顔の見える関係構築に努めました。

【永谷地区の一部・玉興町内会＝下永谷1丁目14～16の約33世帯、みどり町内会＝下永谷2丁目15の一部を除く・下永谷2丁目33～34の約12世帯】

- ・ 芹が谷地域ケアプラザと東永谷地域ケアプラザと合同で、地域の見守り・支えあい強化のために、地域情報の入ったマップづくりや支えあいネットワーク（地区別計画の協議）等に取り組みました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 9月の地域防災拠点訓練の同日に特別避難場所訓練を行ない、要援護者の移動などを行ないました。
- ・ 連合、地区社協、民生・児童委員の会議、地域の活動（永谷川水辺愛護クリーンアップ、下永谷の昔を歩く会、チャリティ芸能大会、サロン等）に積極的に参加しケアプラザのPR活動を行ないました。
- ・ 3月の平戸永谷川さくらまつりでは、ポップコーンの出店を行ない、祭りの式典参加者の永谷小学校、永野小学校の生徒に無料配布しました。
- ・ 下永谷地区社協主催「一人暮らしの方の食事会」に参加する高齢者の送迎をデイサービス専用車で12月と2月実施しました。
- ・ 永野小学校、永谷小学校の個別支援級と1～2年（一般級）の児童を対象とした余暇支援事業「あそびにおいでよ」を春休みに開催予定。
- ・ 職員は出前講座や地域の会議に出向く際、「ひまわりホルダー」の広報活動を積極的に行ない、登録者は1月末現在288名です。

(3) 各事業の連携

- ・ 人生設計講座の参加者からボランティアを募り、夏休み余暇支援事業「なつっこ」開催にあたり、子どもの相手や提供する昼食作りなど福祉保健活動につながりました。
- ・ 畑づくりの後方支援を継続して行ないました。参加者は流動的ですが、セカンドライフ大学校OBの交流や活動の場となっています。ケアプラザのイベントにて野菜販売、芋の蔓で作ったリースの販売を行ない活動資金とすることで活動意欲を高めました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・各部門の専門職は「地域ケア会議従事者研修」「介護予防支援ケアマネジメント業務研修」「成年後見制度基礎研修」「認知症疾患医療センター専門職研修会」「支援困難事例を捉えなおすナラティブ・アプローチの実践」「アセスメントに必要な面接技術を身に着ける」などの外部研修に参加し、個々のスキルアップにつなげました。
- ・通所介護常勤職員は「嚥下機能について」「リスクマネジメント研修」などの外部研修に参加しました。非常勤職員は年間研修計画に沿って「個人情報の漏えいについて」「感染症」「認知症の理解」「人権研修」等を行ないました。
- ・働きやすい職場環境を整えるため、デイサービス業務マニュアルの改善を行ない、ミーティング時の不在者には書面で連絡が行き渡るように確認印を義務付けました。
- ・土曜、日曜、祝日に依頼された個人情報の取り扱いに関しては、鍵のかかる保管場所を決め事務所で徹底しました。
- ・デイサービスでカラオケ機器を導入し、毎日午後の時間帯に看護師による介護予防体操を実施しています。
- ・ダイルーム照明器具をLED化し、カーテン交換工事を3月上旬に実施しました。
- ・多職種会議を積極的に行ない、ケアプラザ内での事業や情報を共有しお互いに協力できる体制を整えました。
- ・法人への働きかけで、デイサービス、非常勤職員の時給をアップし、職員のモチベーションを上げ、欠員の出ない体制を整えました。
- ・11月に職場のメンタルヘルスケアの為にストレスチェック票を配布し、面接が必要な職員は管理者が対応した。職場内では有給休暇の消化を促しました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・永野連合地区、永谷連合地区、下永谷連合地区の3地区のエリアミーティングや地区支援チーム会議の開催を行ない、地域課題の把握と地域支援について、区・区社協・他ケアプラザと協働で取り組みました。
- ・地域住民が安心して過ごせるよう、災害時等に備えて連合町内会や地区社会福祉協議会、民生・児童委員主任児童委員協議会等と会議や行事等で情報共有、連携し、顔の見える関係づくりや協働できる体制づくりを行ないました。
- ・地域防災拠点訓練の同日に特別避難場所訓練を行ない、要援護者の移動などを実践しました。
- ・地域の会議や事業に参加し、地域ニーズの把握や情報提供と、顔の見える関係づくり、協働できる体制づくりに努め、「下永谷ふるさと会議」に参加し、地区別計画の推進に取り組みました。
- ・自主事業を開催する中でも福祉保健計画の全テーマを意識しながら実施しました。

(6) 区行政との協働

- ・各部門の担当圏域において区役所・区社協と、担当職員が情報共有や地域診断、地域支援を行うための会議を行ないました。
- ・ケアプラザ文化祭やサバイバル体験会等地域住民と協働して行なうイベントについては行政機関への参加も声かけをし、顔の見える関係づくりに努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・「囲碁将棋サロン」では参加者が夏休みキッズスペースにて子どもたちに囲碁将棋を教え、世代間交流にも繋がりました。
- ・「卓球サロン」は現在エリア外の方や40～50代の方の参加もあり「大人の卓球サロン」は参加者も多く好評です。参加者の中から「子どもの卓球サロン」のボランティアに活動する等福祉保健活動にも繋がりました。
- ・「しもかふえ」を月1回開催し、参加者同士がふれあう機会ができました。談話をするだけでなく、参加者同士で「しもかふえ」での過ごし方を提案する等し、それぞれの個性・特性を活かした場にもなりました。また、貸館団体によるフラダンスの発表の場にもなりました。
- ・「キッズスペース」「夏休み毎日キッズスペース」では障がい児の参加は見られませんが、小学生の参加がとても多く、放課後の居場所となりました。また、赤ちゃん連れの新規利用もありました。キッズスペースでは月1回永谷の昔話や昔遊びを教えてくれる団体も加わりました。
- ・永野小学校、永谷小学校の個別支援級と一般級の1～2年生を対象に春休みに余暇支援事業「あそびにおいでよ」を開催しました。
- ・「なつっこ」ではエリア外の個別支援級の児童とエリア内の小学生やボランティアの中高生との触れ合いがあり、「来年もまた来たい」という声がありました。
- ・「赤ちゃん教室」「子育てひろば」の会場として、ケアプラザを利用してもらい、身近な場所で相談が出来るという事の周知にもなり、他の子育て事業への参加につながりました。
- ・「ポケットパーク」を年10回実施しました。昨年ヒアリングの中で出た意見を基に企画、実施をしました。今年度は初回時にアンケートを行い、実際の参加者のニーズも取り入れながら行いました。
- ・子育て中の父親が気軽に利用し、交流を持ってもらう事を目的に「プラレールのへや」や「夏休み工作教室」を行う他、新規事業として「父と子の料理教室」を開催しました。その中で、どんな行事に参加したいか等アンケートを実施しました。
- ・小中学生との交流を深める為、保護者を対象とした「ママ講座」を行いました。講座の中では地区別計画の周知と小中学生や父親の福祉保健活動への参加しやすい内容は何か等、意見抽出を行いました。
- ・「こどもの卓球サロン」では現在ケアプラザを利用している福祉保健活動団体に協力を得ながら見守り体制を整え実施し、福祉保健活動団体と、子どもたちの交流の場となりました。
「カップケーキ作り教室」を小学生対象に行い、ケアプラザの周知、子どもたちの行き場や居場所となりました。当日は一般級の児童だけでなく、地域に住んでいる養護学校の児童の参加もありました。
- ・小学生向けの事業を実施する際には生徒に直接チラシを配布し校内にポスターを掲示してもらうなど学校側との連携を図りました。他の事業においても対象者に合わせた場所での周知を行い、参加につなげました。
- ・自主事業の企画、実施にあたり、事業の目的・目標を明確にするため表を作成し、実施時にはアンケートやヒアリングを行い、得た意見を今後の事業企画に反映しました。それぞれの事業はサブコーディネーターの担当を決め、参加者の相談しやすい体制にして、声を拾い上げる事が出来ました。
- ・地域住民を対象とした事業「サバイバル体験会」「文化祭」「もちつき大会」を実施し、多くの方の参加がありました。今後も「気軽に立ち寄れる場所」としてより多くの人に認識してもらえよう周知をしていきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 風除室の掲示板にて貸し館の空き状況が把握出来る様に情報提供を行ない、部屋利用、活動につなげました。
- ・ 部屋利用団体交流会を2月に実施し、団体のニーズ把握、部屋の利用促進、福祉保健活動の周知等を行ないました。
- ・ ケアプラ通信にて福祉保健活動団体の紹介を行ないました。
- ・ 7月の文化祭に福祉保健活動団体の発表や展示、実演等の場の提供を行ないました。
- ・ 「子どもの卓球サロン」や「囲碁将棋サロン」「しもかふえ」、デイサービスにて各団体の専門を活かした活動ができるよう支援しました。
- ・ ケアプラザの廊下を切り絵や絵手紙、写真などの作品展示の場として提供しました。
- ・ 福祉保健活動団体に対し、自主事業（イベント）開催時にボランティア募集を行ない、福祉・保健活動につながるよう促しました。
- ・ 地域ケアルームの利用促進のため、事業やボランティア活動の際も利用し、周知に努めました。
- ・ 貸館の空き状況が分かるように法人ホームページに載せ、広く周知し利用促進に努めました。
- ・ 福祉保健活動が容易でない団体に対し、日程や活動の内容を確認し調整し、活動につなげました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア募集や参加者募集のパネルを掲示し、来館者に活用してもらえよう周知しました。
- ・ 10月に「ボランティア見学会」を開催し7名の参加者があり「できるときにできる事をする」という意識づけをする事が出来ました。
- ・ 自主事業開催時にボランティアを募るほか、貸館利用登録団体にも呼び掛け、活動のきっかけ作りを行ない「子どもの卓球サロン」のボランティア活動につながりました。
- ・ ボランティア感謝祭を3月に開催し、情報交換や活動の課題を共有する機会を作りました。
- ・ 「ヨコハマシニアボランティアポイント」の啓発として11月に登録研修会を実施し、登録者増員とボランティア活動につなげることができました。
- ・ 港南区内の会議等参加した際に貸館団体の紹介をする他、近隣施設よりボランティアの依頼があった際には貸館団体を紹介・調整をし、福祉保健活動へつなげました。
- ・ 人生設計講座の参加者からボランティアを募り、夏休み余暇支援事業「なつっこ」開催にあたり、子どもの相手や提供する昼食作りなど福祉保健活動につながりました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 事業開催の掲示場所として、駅近くの法人敷地、コンビニ、薬局、小学校、保育園、幼稚園に協力を得て周知を図りました。
- ・ 廊下ギャラリーに情報を気軽に持ち帰られるチラシを設置し、自主事業、ボランティア募集、参加者募集の情報が分かるようにしました。また、エリア内にある保育園園児の作品を展示し、園庭解放等の周知をしました。
- ・ 「広報よこはま・港南区版」に毎月自主事業の案内を掲載しました。
- ・ 電子媒体を活用した「ひまわりタネット」や「ボランティア情報」「子育て情報」の配信メールを行いました。また法人ホームページにて貸館の空き状況が見られるようにしました。
- ・ 福祉保健活動団体や自主事業の情報をまとめた「しもながやグループガイド」を更新し、来館者や貸館利用登録団体へ情報提供を行いました。
- ・ 2月に部屋利用団体交流会を開催しました。その中で得た意見を今後の情報提供・

周知活動に活かしていきます。また、ボランティア感謝祭を実施し、各団体、ボランティアの方々と情報交換、共有、収集を行いました。

- ・「ケアプラ通信」を6回発行し、自主事業や福祉保健活動団体の紹介をする他、チラシを作成し掲示や配布をし周知をしました。
- ・風除室にある掲示板にて貸し館の空き状況が把握出来る様にし、多くの方に利用できるよう努めました。
- ・ケアプラザ内の壁面を活かし、小中学校の情報をコーナを設け、永野小学校の広報紙を定期的に掲示しました。
- ・区、区社協、地域包括支援センターとエリアミーティングを行い、地域情報の共有や地域への働きかけ等の検討を図りました。
- ・今年度ケアプラザのパンフレットを作成し、子育て事業の申込みにはQRコードを付けてメールでの申し込みもできるようにしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域住民向け個人情報取り扱い方についての研修を開催し、理解を深め、次年度の支え合いマップづくりの準備を進めました。
- ・他地区の福祉ネットワーク事業の紹介をしました。
- ・地域の講座やサロン等に出向き「たすけあい連絡会」を周知しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・藤和上永谷ハイタウン自治会の集会室でのカフェ開催のチラシ作成し、周知を行ないました。
- ・地域行事に積極的に参加し、新しい地域役員との関係を構築しました。

(3) 連携・協議の場

- ・地域ケア会議から抽出した意見・課題を活かし、外出支援をテーマに11月と2月に協議体を開催しました。
- ・協議体の意見交換の中で、外出困難者がどんな助けを求めているかを知る必要があるということで、外出についてのアンケートを実施し、ニーズ把握を行ないました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・港南区の生活支援コーディネーターで作成したパンフレットを活用し、地域役員の定例会や地域ケア会議などで周知しました。
- ・区域の課題と担当圏域の地域課題の把握し、様々な事業に繋げました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・地域ケア会議を開催し、区、区社協、医療機関、民生・児童委員等の地域関係者と地域課題の共有化を図り、地域支援ネットワークを構築に努めました。
- ・地域の会合等に出席するなどして、包括支援センターの役割を周知し、より良い関係づくりを進めました。
- ・たすけあい連絡会の定例会に参加し、活動の活性化に向けての支援をしました。
- ・地域のコンビニや薬局、医療機関にケアプラザ事業のチラシの配架に協力してもらうなどして関係づくりを進めました。
- ・エリア内のマンションに講座周知の協力をしてもらうなどして関係づくりすすめ、入居者の緊急時には一緒に訪問をするなどして支援をしました。
- ・民生・児童委員と友愛活動員、ケアマネジャーと介護保険事業者との連絡会を開催し、顔の見える関係づくりを行ないました。
- ・民生・児童委員の定例会に出席し、情報提供や事業周知を行ない、より良い関係づくりを進めました。
- ・区役所とカンファレンス（毎月）を開催し、個別ケースや地域情報を共有し、チームとしての支援方法の検討を行ないました。

② 実態把握

- ・相談実績から町内別相談件数、内容を分析し、地域の特徴を把握しました。その結果、精神疾患や認知機能の低下により自ら発信できずに孤立化傾向にあり、家族がいても問題解決が遅れる傾向があることが把握できました。
- ・人生設計講座や介護者のつどい（家族会）の参加者にアンケート調査を行ない、ニーズの把握を行ないました。
- ・地域ケア会議の開催や自治会の会議に参加するなどして地域の特性、地域の主要な人材・関係性などを把握し、地域の実情に即した支援方法の検討につなげました。
- ・エリア内のマンション等を訪問するなどして、マンション相談員や管理人と心配な入居者についての情報を共有し把握しました。

③ 総合相談支援

- ・5～6月に開催の「男の料理」ではこれまでケアプラザに関わったことのない男性にケアプラザを知るきっかけとすることができました。
- ・地域住民向けに「プランター菜園」を開催し、新しい趣味活動のきっかけや仲間づくりを支援しました。12月、2月の収穫際には次年への実施に向けて参加者から「また参加したい」という声がありました。
- ・区内包括との共催により若年性認知症の集い「みなとみな」を開催し（年3回）、当事者と家族の支援をしました。
- ・相談内容を的確に把握し、内容に応じた適切な情報提供を行ない、関係機関や制度、事業、インフォーマルサービスにつなげました。
- ・地域コミュニティや介護サービスに繋がらない孤立化する傾向にある高齢者を訪問し、安否確認や継続的な関係づくりを行ないました。
- ・精神疾患や虐待等の緊急を要する相談では関係機関と連携し、迅速な対応を行ないました。
- ・民生・児童委員や地域の方からの情報には迅速に訪問や状況把握し、対応した内容については必ず民生・児童委員や地域の方に報告して返すように努めました。
- ・区内包括の輪番で蓬来荘に出向き「なんでも相談会」を実施しました。（11月）
- ・地域に出向き（菱興、百合ヶ丘）、「ひまわりホルダー登録会」を開催しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域住民向けに「人生設計講座」で「老後の備えと成年後見制度」と「高齢者施設の基礎知識」の講座を開催し、制度の普及啓発を行ないました。
- ・成年後見制度の申立てでは、手続きや第三者後見人等について個々の状況に応じた説明や支援を行ない、必要な場合には区と連携しながら支援を進めました。
- ・消費者保護の相談は、消費者総合センターと連携し解決支援を行ないました。

② 高齢者虐待への対応

- ・区内包括社福士分科会の協働で区内ケアマネ連絡会、新任ケアマネ研修にて虐待防止研修を開催し、虐待に関する基礎知識と早期発見についての周知をしました。
- ・虐待の可能性のある相談事例には区と同行し、状態確認するなどして情報を共有し、支援方針を決めるなどして早期の対応を行ないました。
- ・介護者を対象として“介護者のつどい”「ささやか」や「家族会」を開催し、介護ストレスの軽減や介護者同士の仲間づくりを支援しました。
- ・10月に開催した“介護者のつどい”ではデイサービス利用者の家族会と同時開催をし、デイサービス車両で参加者の送迎を行ないました。

③ 認知症

- ・区内包括の共催で若年性認知症の集い「みなとみな」を開催し、当事者と家族の支援をしました。
- ・若年性認知症の方の活動の場として苗の植え付け～収穫までの作業を年間通じて支援しました。若年性認知症の方が介護サービスに繋がるまでのつなぎの機能を果たすようになっています。
- ・エリア内グループホームの協力を得て、認知症カフェ「さくら☺カフェ」を開催しました。当事者だけでなく、グループホームの入居者や民生・児童委員等も参加し、交流ができました。グループホームの協力で送迎車をだしてもらい、参加人数の増加につながりました。
- ・認知症サポーター養成講座を区役所職員や友愛活動員向けに開催しました。地域のキャラバンメイトと協力し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めました。
- ・認知症予防の取り組みとして、毎月、地域の町内会館で「音楽療法」の講座を開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・民生・児童委員の定例会（毎月第三土曜日）に参加し、情報を共有し、個別の相談ケースは区へ報告し共有しました。
- ・民生・児童委員との連絡会を年2回企画し、1回目の6月は講師を招き「個人情報を守って活かす」をテーマに開催しました。2月に2回目を開催し、「親の年金で生活する子」をテーマにグループワークを行ないました。
- ・地域のグループホーム2か所、看護小規模1か所の運営推進会議に出席し、情報交換を行ないました。また、グループホーム開催のカフェに見学を兼ね参加しました。
- ・「ひまわりホルダー」の説明会と登録会を9月に2回、百合が丘ハイツと菱興上永谷自治会館で開催しました。
- ・ケアプラザ協力医と月1回、地域の健康相談室を開催し、地域住民とケアマネジャーからの相談に対応しました。
- ・11月に地域ケアプラザ協力医による地域住民向けの講座「認知症と運転」を開催しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・「医福ネット港南」を9月に開催し、医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、理学・作業療法士等多職種で活発な意見交換が行なわれました。
- ・主治医・ケアマネジャー連絡票をもって個別訪問し、両者の連携を支援しました。
- ・地域ケア会議を8月「生活意欲を高めるための外出手段について」、2月「認知症の見守り」をテーマとして開催しました。
- ・医師会主催の多職種連携会議11月14日に出席し、事例検討を通じ支援方法についての学びの機会としました。
- ・生活支援センターと共催し、全3回で「精神疾患についての理解と対応」についての講座を開催しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・新任ケアマネジャー施設見学会（4施設）を5月に実施しました。
- ・初級ケアマネジメント講座を9月～11月にかけて全5回講座を区内地域包括支援センター主任ケアマネジャー分科会（以下、分科会）で開催しました。講座終了後に自主学習グループの立ち上げを支援した結果、新しい勉強会のグループを作ることができました。
- ・中級ケアマネジメント講座を8月に「支援困難事例を捉え直す～ナラティブ・アプローチの実践～」をテーマに開催しました。好評のため、2月に同テーマで第二弾を開催しました。運営は区役所と分科会で協働しました。
- ・ケアマネ連絡会では、区内包括主任ケアマネジャーが事務局に入り、年7回の講座を計画し、支援した。居宅主任ケアマネジャーの勉強会も参加し、事例検討等を行ないました。
- ・「ケアマネサロン」を毎月開催し、ケアマネジャー業務にすぐに役立つ情報の提供をしました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議を8月に実施し「生活意欲を高めるための外出支援について」をテーマに町内会役員、民生・児童委員、商店や介護保険サービス事業所の参加がありました。ケア会議後、協議体のメンバーが形成できました。
- ・包括圏域の地域ケア会議を2月に開催しました。「認知症の見守り」をテーマに、認知症の人とそのその周囲で関わる人たちの課題を知り、共有するとともに地域の課題について意見交換をしました。家族や近隣住民にも参加をいただき、介護や見守りの実情を自治会や地域のボランティア、地域の医師、民生・児童委員、介護事業所と共有し在宅の限界点を探りました。認知症の課題だけでなく、「今、地域が高齢者等の見守りをやりきるだけの力があるかまだ見えない」という課題が残りました。今後はその「力」の見積もりをどのように見える化し、地域で共有できるかを生活支援コーディネーター等とも検討していきます。
- ・民生・児童委員とケアマネジャー等との連絡会を開催し、地域の自治会役員や民生児童委員とケアマネジャーとの「顔の見える」機会とし、地域課題の抽出や解決方法について検討できる場としました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・介護予防ケアマネジメント研修を他の2職種や区役所と協力して開催し、グループワークではファシリテーターを務めました。
- ・介護保険外のサービスや社会資源を活用したプラン作成に努め、自立を目指したプラン作成について、担当者会議やケアプラン作成の際にケアマネジャー支援をしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・新たな担い手の発掘や育成に繋がるように、ケアプラザ事業を地域活動交流と地域包括支援センターの協働で行ない、活動の場の提供や遣り甲斐を引き出せるよう働きかけました。
- ・介護予防関連の「GOGO健康講座」や出前講座、体力測定などを地域の会館や高齢者住宅、集合住宅に出向いて開催しました。その際、運動指導士や栄養士や歯科衛生士、福祉事業者等にも協力を得て行ないました。
- ・地域活動グループ向けに「タオル体操」の研修と交流会を開催し、サロンの充実につなげました。

7 施設の適正な運営管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・地域の身近な福祉保健活動の拠点であるケアプラザの適性な維持管理は、専門業者による定期清掃、設備保守点検等を実施しました。
- ・セキュリティ強化の為、警備会社との委託契約を行ない、火災、盗難、ガス漏れ、不法侵入等に対する警備機器の端末感知器を設置しています。日々の管理点検は、14項目にわたる館内見回りチェックシートを活用し、遅番職員が建物維持管理を確実に実施しました。
- ・不具合の早期発見後は管理者から港南区へ報告、随時修繕を行ない、来館者へ安全なサービスを提供しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・身近な福祉保健活動の拠点として情報発信を行ないました。
- ・各部門毎に課題分析を行ない、目標を明確にし、情報共有行ない、定期的な会議を通じサービスの向上に努めました。
- ・適正な人員配置登法令遵守に努め、職員メンタルに配慮し活力ある職場環境を目指しました。
- ・ケアプラザ全体としては、横浜市が目指す「ポジティブエイジング」実現の為の社会参加のきっかけづくりを心がけ、ボランティア育成等を意識し、事業展開行ないました。

(3) 苦情受付体制について

- ・苦情が発生時は、「苦情受付票」を作成し、再発防止のための会議を行ない、所内で情報を共有しました。各部署毎に苦情受付責任者が配置されており、管理者へ報告し、迅速な対応を行ないました。館内には掲示にて情報公開しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・防犯に関しては、日中、複数の職員が事務所に勤務し、警察、消防への連絡体制を整えました。
- ・ケアプラザ全体では火災や地震に対する訓練を年2回実施しました。今年度も下永谷連合エリア内の地域防災拠点から特別避難場所開設訓練を行ないました。
- ・夜間のセキュリティに関しては、株式会社ニットービスコムに委託し、防犯体制を万全にしました。

(5) 事故防止への取組について

- ・日々の業務では毎朝の朝礼時、各部署では月単位の会議で情報の共有を行ない再発防止に向けての会議をおこないました。業務マニュアルの見直しや変更を行ないました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報を含む書類やパソコンの記憶媒体は、鍵のかかる場所に保管し、保管には最新の注意を払いました。
- ・パソコンはパスワードを設定し、所外への書類持ち出しに関してはチェックリストで管理をしています。
- ・個人情報に関する研修は適宜実施しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・法人のホームページには法人の理念や沿革、事業案内等が掲載されています。貸館の空き情報等、ケアプラザのパンフレットのQRコードからスマートホンでホームページにつながるように工夫したり、地域活動交流のメールに事業の申し込みが夜間でもできるような体制になりました。
- ・事業所内での苦情や事故に関しては、館内に掲示を行ないました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・地域のサロンや小学校等で認知症や成年後見制度の啓発事業を開催し、地域住民が高齢者や認知症に対する理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めました。
- ・障がい者が通う地域の作業所には手作りパンやクッキーなどの定期販売やイベント時の販売を依頼するなど、地域住民が障がい者と触れ合い、障がいについての理解を深める機会を作りました。
- ・エリア内の就労支援事業所「シャローム港南」と顔の見える関係が構築され、下永谷の通所介護事業所のボランティア活動や就労に繋がりました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・リデュース（発生抑制）→ペーパーレス会議、リユース（再利用）→コピー用紙裏面使用、リサイクル（再生）→インクカートリッジの回収箱設置・テプラ回収箱設置→資源ごみの消滅、分別回収の促進に取り組みました。
- ・節電行動計画による照明をこまめに消し、冷暖房の設定温度を市が推奨する温度としました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・地域包括支援センター 常勤3名
- ・介護予防プランナー 非常勤2名

《目標に対する成果等》

- ・高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすことが出来るよう、自ら生活課題に取り組み、目標をもって自立生活を目指せるよう、ケアプラン作成やこれに伴う支援に努めました。
- ・介護保険以外の社会資源もケアプランに載せるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域住民が主体的に介護予防や地域活動に参加できるよう、会合や出前講座等で周知を図りました。
- ・地域包括支援センター、地域活動交流、日常生活支援コーディネーター、プランナー、居宅介護支援事業所、サービス事業所、医療機関等多職種と連携を図り、ケアマネジメントやサービスの質の向上に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	139	139	143	142	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
137	138	138	134	135	136

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 介護支援専門員 常勤3名 非常勤2名
1名のケアマネジャーが35名を超えないよう配慮しました。

《目標》

- ・ ご利用者が可能な限り在宅生活が継続できるよう、本人、家族の意向に沿ったケアプランを作成しました。
- ・ ご利用者の心身の状況を把握し、医療、行政、サービス事業所、地域の民生委員等との連携を図りながらサービス調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ 通常のサービス実施区域外に訪問や出張する場合は、その旅費を頂く場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 平成24年9月以降、特定事業所加算Ⅱを算定しています。主任介護支援専門員を配置、包括支援センターからの困難事例の受け入れや、24時間連絡の取れる体制を整え質の高いサービス提供を目指しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	145	141	138	144	142
10月	11月	12月	1月	2月	3月
140	136	137	132	132	134

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス ●入浴 ●食事の提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（通所介護）		● 1割負担（認知症対応型通所介護）	
（要介護1）	614円	（要介護1）	1,072円
（要介護2）	725円	（要介護2）	1,188円
（要介護3）	837円	（要介護3）	1,305円
（要介護4）	948円	（要介護4）	1,422円
（要介護5）	1,060円	（要介護5）	1,539円
● 食費負担	680円		
● 当日キャンセル	680円		

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00～15:15 【通所介護】（半角で入力 例9:00～15:00）
9:15～16:15 【認知症対応型通所介護】

《職員体制》

- | | | | |
|---------------|------------|------------------|-----------|
| ・ 管理者 | 1名 | ・ 看護職員 | （非常勤兼務）5名 |
| ・ 生活相談員（常勤兼務） | 5名 | ・ 機能訓練指導員（非常勤兼務） | 4名 |
| ・ 介護職員（常勤兼務） | 5名 | ・ 調理員 | （非常勤兼務）6名 |
| | （非常勤兼務）15名 | ・ 運転手 | （非常勤兼務）6名 |

《目標》

- ・ ご利用者が有する能力においてその人らしい生活が実現できるよう個別の通所介護計画を基に自己決定と選択を尊重し利用者本位のサービス提供を目指しました。
- ・ 法令遵守と事故防止に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 昼食は季節感のあるものを取り入れ、選択食や松花堂弁当箱を使い特別感を演出するなど工夫を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
877	878	832	822	818	839
10月	11月	12月	1月	2月	3月
846	807	779	694	716	861

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス ●入浴 ●食事に提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（介護予防・第1号通所事業） （介護予防認知症対応型通所介護）
（事業対象者）
- （要支援1） 1,766円 （要支援1） 927円
- （要支援2） 3,621円 （要支援2） 1,036円
- 食費負担 680円
- 当日キャンセル 680円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:00～15:15 【介護予防通所介護・第1号通所事業】
9:15～16:15 【介護予防認知症対応型通所介護】

《職員体制》

- ・管理者 1名 ・看護職員（非常勤兼務） 5名
- ・生活相談員（常勤兼務） 5名 ・機能訓練指導員（非常勤兼務） 5名
- ・介護職員（常勤兼務） 5名 ・調理員（非常勤兼務） 6名
- （非常勤兼務） 15名 ・運転手（非常勤兼務） 6名

《目標》

・ご利用者が有する能力においてその人らしい生活が実現できるよう個別の通所介護計画を基に自己決定と選択を尊重し利用者本位のサービス提供を目指しました。

・法令遵守と事故防止に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・昼食は季節感のあるものを取り入れ、選択食や松花堂弁当を使い特別感を演出するなど工夫しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
33	32	32	32	31	32
10月	11月	12月	1月	2月	3月
34	33	32	32	34	35

平成29年度「下永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)地域活動

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,513,500	1,334,280	15,847,780	15,847,780	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	83,400	△ 83,400	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	117,730	△ 117,730	
印刷代	0		0	9,440	△ 9,440	
自動販売機手数料	0		0	87,390	△ 87,390	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理充当分)	0		0	20,900	△ 20,900	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,101,000	1,334,280	19,435,280	19,636,410	△ 201,130	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,650,000	0	9,650,000	11,654,918	△ 2,004,918	
本俸	6,020,000		6,020,000	7,722,502	△ 1,702,502	
社会保険料	800,000		800,000	914,977	△ 114,977	
手当計	2,670,000		2,670,000	2,838,164	△ 168,164	
健康診断費	40,000		40,000	24,470	15,530	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	この列は入力しない
退職給付引当金繰入額	90,000		90,000	104,742	△ 14,742	
その他	30,000		30,000	50,063	△ 20,063	
事務費	1,563,000	0	1,563,000	1,740,141	△ 177,141	
旅費	30,000		30,000	17,750	12,250	
消耗品費	545,000		545,000	617,856	△ 72,856	
会議贈い費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	16,000		16,000	10,402	5,598	
通信費	407,000		407,000	401,977	5,023	
使用料及び賃借料	0	0	0	21,804	△ 21,804	
横浜市への支払分	0		0	21,804	△ 21,804	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	120,000		120,000	443,338	△ 323,338	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	38,877	1,123	
職員等研修費			0	563	△ 563	
振込手数料	4,000		4,000	296	3,704	
リース料	262,000		262,000	33,420	228,580	
手数料	102,000		102,000	32,724	69,276	
地域協力費			0	0	0	
その他	27,000		27,000	121,134	△ 94,134	
事業費	392,000	0	392,000	403,969	△ 11,969	
運営協議会経費	42,000		42,000	6,628	35,372	予算・指定額
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	397,341	△ 47,341	
管理費	5,724,000	1,334,280	7,058,280	6,854,980	203,300	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	3,550,000	0	3,550,000	3,106,985	443,015	
電気料金				1,019,948		
ガス料金				692,940		
水道料金				1,394,097		
清掃費	286,676		286,676	286,676	0	
修繕費	474,000	1,334,280	1,808,280	1,808,280	0	予算・指定額
機械警備費	299,651		299,651	300,607	△ 956	
設備保全費	855,602	0	855,602	857,704	△ 2,102	
空調衛生設備保守	590,409		590,409	590,409	0	
消防設備保守	44,053		44,053	46,155	△ 2,102	
電気設備保守	23,333		23,333	23,333	0	
害虫駆除清掃保守	63,069		63,069	63,069	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	134,738		134,738	134,738	0	
共益費	0		0	494,728	△ 494,728	
その他	258,071		258,071	0	258,071	
公租公課	772,000	0	772,000	932,393	△ 160,393	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	772,000		772,000	932,393	△ 160,393	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他 ()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,101,000	1,334,280	19,435,280	21,586,401	△ 2,151,121	
差引	0	0	0	△ 1,949,991	1,949,991	

自主事業費収入	350,000		350,000	0	350,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	350,000		350,000	397,341	△ 47,341	
自主事業収支	0	0	0	△ 397,341	397,341	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	87,390	△ 87,390	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	21,804	△ 21,804	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	65,586	△ 65,586	

平成29年度「下永谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,251,000	△ 420,000	22,831,000	22,831,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,263,593	4,525,407	4,525,407	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	96,400	△ 96,400	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	27,900	△ 27,900	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	114,382	△ 114,382	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	87,382	△ 87,382	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	27,000	△ 27,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,191,000	△ 1,683,593	27,507,407	27,746,089	△ 238,682	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,680,000	0	24,680,000	27,234,863	△ 2,554,863	
本俸	14,820,000		14,820,000	15,254,516	△ 434,516	
社会保険料	3,182,000		3,182,000	3,466,138	△ 284,138	
手当計	6,000,000		6,000,000	7,731,583	△ 1,731,583	
健康診断費	75,000		75,000	49,320	25,680	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	423,000		423,000	480,119	△ 57,119	
その他	180,000		180,000	253,187	△ 73,187	
事務費	1,565,000	0	1,565,000	1,927,328	△ 362,328	
旅費	30,000		30,000	66,730	△ 36,730	
消耗品費	417,000		417,000	407,207	9,793	
会議購い費			0	1,378	△ 1,378	
印刷製本費	33,000		33,000	21,755	11,245	
通信費	325,000		325,000	379,454	△ 54,454	
使用料及び賃借料	0	0	0	5,796	△ 5,796	
横浜市への支払分			0	5,796	△ 5,796	
その他			0	0	0	
備品購入費	277,000		277,000	150,075	126,925	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	129,000		129,000	36,371	92,629	
職員等研修費	0		0	21,655	△ 21,655	
振込手数料	12,000		12,000	8,532	3,468	
リース料			0	0	0	
手数料	11,000		11,000	118	10,882	
地域協力費	27,000		27,000	27,000	0	
その他	304,000		304,000	801,257	△ 497,257	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	732,143	457,857	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	165,183	△ 65,183	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	205,960	103,040	予算:指定額
管理費	1,756,000	0	1,756,000	1,467,522	288,478	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	950,000	0	950,000	825,907	124,093	
電気料金				271,125		
ガス料金				184,199		
水道料金				370,583		
清掃費	76,204		76,204	76,204	0	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	79,653		79,653	79,907	△ 254	
設備保全費	227,436	0	227,436	227,995	△ 559	
空調衛生設備保守	156,943		156,943	156,943	0	
消防設備保守	11,710		11,710	12,269	△ 559	
電気設備保守	6,202		6,202	6,202	0	
害虫駆除清掃保守	16,765		16,765	16,765	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	35,816		35,816	35,816	0	
共益費			0	131,509	△ 131,509	
その他	296,707		296,707	0	296,707	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,191,000	0	29,191,000	31,361,856	△ 2,170,856	
差引	0	△ 1,683,593	△ 1,683,593	△ 3,615,767	1,932,174	

自主事業費収入	560,000			124,300		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000			522,143		
自主事業収支	0			△ 397,843		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			87,382		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			5,796		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			81,586		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 下永谷地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	認知症対応型 通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	3018	29587	78955	14524	12932
	その他	5292	7103	1585	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	5292				
	事業・負担金収入					
	要介護認定調査委託料		326			
	委託事業		864			
	追加契約			1105		
	事業収入			352		
	雑収入			38		
	受取利息配当金収入			3		
	サービス区分間繰入金収入		5913			
	その他			87		
	収入合計(A)		8310	36690	80540	14524
支出	人件費		26599	75986		
	事務費		1502	3817		
	事業費			10625		
	管理費		24	11001		
	その他	8310	7882	11140	0	0
	利用者負担軽減額					
	消費税					
	介護予防プラン委託料	2397				
			530	530		
			5000	5000		
		5913	2352	5537		
その他			73			
支出合計(B)		8310	36007	112569	0	0
収支 (A) - (B)		0	683	-32029	14524	12932

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絆塾・下永谷 ケアプラザ 文化祭	【目的】 活動の周知・情報提供。活動のネットワーク。 担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。 【内容】 ケアプラザ等で活動している福祉保健活動団体による、ステージ披露や展示による活動の発表、体験コーナーの実施。その他、地域ケアプラザの機能の紹介や、作業所のパン販売、ボランティアによるフェイスペイントも行いました。	【時期】 7月1日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 実行委員会	【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。 【内容】 住民の皆様が地域で行いたいことや勉強したいことを企画検討する実行委員会。 恒例となっている「サバイバル体験会」や「ケアプラザ文化祭」の内容等の検討、決定、準備を行う他、防災センター見学や次年度の計画、事業の企画を検討しました。	【時期】 4月～3月 【回数】 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 サバイバル 体験会	【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。活動の周知・ 情報提供 【内容】 下永地区の中にある災害に関する標識や一時避難施設を確認しながら歩く「サバイバルウォーキング」とポリ袋を使った「サバイバルクッキング」を行いました。	【時期】 4月22日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ 廊下ギャラリー	【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。 情報提供 【内容】 ケアプラザの廊下の壁面に、地域住民や近隣保育園児が制作した絵画や写真作品等の展示。その他自主事業の紹介や参加者及びボランティア募集の情報提供を行いました。	【時期】 4月～3月 【回数】

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おまつりひろば	【目的】 地域で子育て支援 【内容】 「乳幼児の兄弟が参加できる行事をしてほしい」という声を元に未就学児を対象とした「縁日ごっこ」を実施しました。家族で季節を楽しみました。	【時期】 7月18日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびにおいてよ	【目的】 地域の中にある小学生の居場所、つながり作り 【内容】 エリアの小学校1～2年生と個別支援級の児童を対象にした余暇支援と居場所作り。貸館団体によるプログラム（バトントワリング、折紙）を実施しました。	【時期】 3月29日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成 【内容】 ケアプラザでボランティア活動している活動の内容や課題の報告や意見交換等、交流会を開催しました。	【時期】 3月20日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア見学会	【目的】 担い手・人材の発掘、育成 【内容】 地域住民を対象とした見学会。デイサービスでの活動の見学・体験を行いました。	【時期】 10月24日 【回数】 1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサロン 「ポケット パーク」	【目的】 地域で子育て支援 【内容】 未就園児（2～3歳）と保護者を対象とした子育てサロンとして近隣保育園や講師による月替わりのプログラムや絵本の読み聞かせを実施しました。保健活動団体の協力を得ながら子どもたちにクリスマスプレゼントを渡しました。	【時期】 4月～3月 【回数】 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
部屋利用団体交流会	【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。 【内容】 貸館団体同士の情報交換やケアプラザからのお知らせ（事務連絡、福祉保健活動について等）をしました。	【時期】 2月6日 【回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声広場	【目的】 地域の方が自宅に引きこもることなく、気軽に集える居場所 【内容】 歌詞カードを基に歌を歌う他、顔のストレッチや発声練習などを行いました。	【時期】 1月～3月 【回数】 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もちつき大会 & バザー	【目的】 活動の周知・情報提供。地域のつながり交流の場づくり 【内容】 地域の自治会町内会からなる実行委員会のもちつきと、ボランティア団体等が行うバザーを実施しました。	【時期】 10月～12月 【回数】 2回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁・将棋 サロン	【目的】 男性の地域活動参加のきっかけづくりと仲間づくり。 担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。 健康づくり。地域で高齢者の支援。 【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら囲碁・ 将棋を行うサロンを開催しました。夏休みを利用し、 「夏休みキッズスペース」と合同で実施し、世代間 交流を行うことができました。	【時期】 4月～3月 【回数】 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズスペース	【目的】 地域で子育て支援、障がい児支援 【内容】 未就園児から小学生までの子どもが、ケアプラザで自由 に過ごせるフリースペースを設け開催しました。 月に1回福祉保健活動団体による昔遊びのコーナー などもありました。	【時期】 4月～3月 【回数】 46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み毎日 キッズスペース	【目的】 地域で子育て支援、障がい児支援 【内容】 夏休み期間中、未就園児から小学生までの子どもが、 ケアプラザで自由に過ごせるフリースペースを開催。 「囲碁・将棋サロン」の参加者との合同実施や 福祉保健活動団体である「永谷ふるさと村」の 「永谷の昔のお話」などの回もありました。	【時期】 7月～8月 【回数】 34回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カップケーキを つくろう	【目的】 小学生の居場所づくり、地域参加へのきっかけづくりと してケアプラザを知ってもらう 【内容】 デコレーションを楽しみながらオリジナルの カップケーキを作りました。	【時期】 12月16日 【回数】 1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆらりん ころりん	【目的】 地域で子育て支援 【内容】 0～1歳を対象に、親子のふれあい遊び、よみ聞かせ、パラバルーンあそび、お楽しみ工作等を行いました。	【時期】 6月23日・ 11月21日 【回数】 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラレールの へや	【目的】 地域で子育て支援、子育て中の父親の居場所づくり 【内容】 小学校低学年までの子どもとその保護者を対象にプラレール遊びを通して参加者同士の交流の場として開催しました。	【時期】 4月～3月 【回数】 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室	【目的】 地域で子育て支援 【内容】 低学年・高学年と分かれ夏休み期間中、地域に在住の講師の指導による工作教室を開催しました。	【時期】 4月～8月 【回数】 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の 卓球サロン	【目的】 地域での仲間づくり。地域のつながり交流の場づくり。健康づくり。地域で高齢者の支援。 【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行う大人限定のサロンを実施しました。	【時期】 4月～3月 【回数】 50回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
卓球サロン	<p>【目的】 地域での仲間づくり。地域のつながり交流の場づくり。健康づくり。</p> <p>【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行いました。春休みと夏休みには参加者の中から「子どもの卓球サロン」のボランティアに活動する等福祉保健活動にも繋がりました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 97回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサークル交流会	<p>【目的】 子育てサークルのネットワークづくり。保護者に対するサークル運営のヒントや育児力の向上。地域に向けた活動のきっかけづくり</p> <p>【内容】 プール遊び、運動会、デイサービス交流、親子遊びの企画と実施をしました。</p>	<p>【時期】 通年</p> <p>【回数】 8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもの卓球サロン	<p>【目的】 こどもの居場所作り、世代間交流</p> <p>【内容】 子ども達が安心して卓球を楽しめる場の提供として開催しました。貸館団体（主に卓球の団体）の協力のもと、世代間交流をし、顔の見える関係づくりを行ないました。</p>	<p>【時期】 4月、7～8月、3月</p> <p>【回数】 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しもかふえ	<p>【目的】 地域での仲間づくり。交流の場づくり。</p> <p>【内容】 参加者同士でお茶を飲みながらコミュニケーションを図る場として開催しました。貸館団体によるフラダンスや楽器演奏の発表の場ともなりました。</p>	<p>【時期】 最終月曜日</p> <p>【回数】 10回</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プランター菜園	<p>【目的】 多世代間の交流や仲間づくりを支援。新たな生きがい、ボランティア活動につなげていきます。</p> <p>【内容】 プランター菜園講座として1回目は「ミニトマト」 2回目は「茎ブロッコリーとキャベツとレタス」を植えました。 講座終了後は水やり手入れ等を1冊のノートで連絡をとりながら各自で行い収穫後は参加者で調理し食事会を行いました。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 24回</p>